

北九州市立霧丘中学校 学校通信

われら若者 NO. 50

平成28年5月31日 校長 篠崎政義

HPアドレス <http://www.kita9.ed.jp/kirigaoka-j/>

<校訓>

「自主」自ら学び正しい行動ができる生徒

「明朗」明るくあいさつできる元気な生徒

「努力」くじけず目標に向かって頑張る生徒

努力の上に花が咲く！ 霧中ノートで学力向上！

霧丘中学校では、家庭学習の充実を図るため、自主学習ノートとして独自に「霧中ノート」を作成し、全校生徒が活用しています。

そのねらいは、一言で言うと「家庭学習の習慣づくり」です。霧中生に限らず、小中学生の家庭学習の習慣には個人で大きな差があり、「家庭学習をまったくしない」児童生徒の割合はかなり高く、学力低下の大きな要因になっています。このことは昨年度の「全国学力学習状況調査」の結果からも明らかです。そこで開発したのが、「霧中ノート」です。他校でも実績を上げているものをもとに、本校学力向上委員会が改良を加え、平成27年4月から全校で一斉に取り組むスタートさせました。

<活用のながれ>

- ① 帰りのHRで「明日の授業連絡・宿題」を記入する。
- ② その日あったことや自分をふりかえり「中学生日記」を書く。
- ③ 自宅で、机に向かい、自分で学習のテーマを決めて1ページだけ取り組む。
- ④ 家庭学習の時間を記入し、自己評価（マーク）をする。
- ⑤ 翌日、朝登校したら、担任の先生に提出する。
- ⑥ 担任の先生がひとり一人の「霧中ノート」を点検し、印やコメントを入れて返却。



- 特長として
- 1日1ページで無理のないペースでつくる学習習慣
 - すべての教科に対応できる罫線の工夫
 - 明日の授業連絡をしっかり把握
 - 「学習の足跡」をグラフで整理
 - 「中学生日記」は先生とのコミュニケーション広場

などがあげられます。開始以来、先生と生徒みんなの努力で、提出率は100%近くになっています。「授業五則」とともに、コツコツ取り組めば、きっと効果は上がるはず。努力の上に花が咲く！ねばり強く取り組んでいきましょう。

雨二モ負ケズ！ 1年生ふれあい合宿



元気に行ってきます！



さあ班ごとに出発



よく頑張りました



みんなでいただきます



「つどい」の儀式



心を合わせて跳ぼう



上手に○を描いて・・・



室内オリンピック



みんなで一致団結！

【ふれあい合宿を終えて】私がふれあい合宿で学んだことは3つあります。1つは協力することです。一人の力ではやり遂げることができない難しいことでも、みんなで知恵を出し合えばできるし、それをすることで団結力が深まることがわかりました。(中略)2つ目は挨拶をすることです。あいさつは今までもしていたけど、知らない人にはあまりきちんとできていませんでした。していたとしても、声が小さくて元気がない弱いあいさつでした。でもこの3日間で、知らない人にでも誰にでも大きな声で明るくあいさつができるようになりました。だから、ふれあい合宿中だけじゃなくて、これからも強いあいさつをしていきたいです。3つ目は、相手を思いやり気を使うことです。家にいる時は家族しかいないから、あまり気を使うことは少ないけど、ふだん一緒にいない友達といると、いろいろと気を使うことがありました。例えば、食事の時にみんなのお茶をついであげたり、入浴の時に髪の毛だけシャワーを使って、あとは友達にゆずったりしました。だから、これをきっかけに、友達にも気を使っていきたいと思います。ふれあい合宿で学んだことは、これからは活かしていきます。(1年3組 濱田 穂乃花)